

# 測量・地盤調査・設計業務委託用設計単価

平成 2 3 年度版

(平成 2 3 年 4 月 1 日以降適用)

宮城県土木部

## 測量調査設計業務資材設計単価表

1. この資材単価表は、県工事にかかる調査設計等の積算業務の効率化を図るために作成したものである。
2. 掲載されている単価は、県工事にかかる調査設計等において使用頻度の高い資材の標準的な価格を収録したものである。
3. この資材単価表に掲載されていない単価は、物価資料及び見積によるものとする。
4. 摘要欄に「セ」「ケ」と記載のあるものは、物価資料2誌（積算資料・建設物価）の3月号の平均単価とする。なお、一誌のみ掲載のものはその単価とする。  
「セ」・・・財団法人経済調査会発行「積算資料」  
「ケ」・・・財団法人建設物価調査会発行「建設物価」
5. この資材単価表の貸出しは行わない。
6. 施行期日 平成23年4月1日から適用
7. この資材単価の内容に関する問い合わせには応じない。

材料単価及び損料

コード	名称	規格	単位	単価		摘要
				4/1~		
〔ポリエステルフィルム等〕						
TZH 02010102	ポリエステル フィルム	トレスター Z400 四六判 80*110cm	枚	—		地図作成
TZH 02010312	密着用 ポジフィルム	フジグラフコンタクトフィルム PT100 24cm*26cm	〃	253		地図作成
〔感光紙〕						
TZH 02020016	陽画感光紙	四六判、80*110cm	枚	47		地図作成
〔印画紙等〕						
TZH 02050010	密着用印画紙	モノ、24cm*26cm	枚	109		地図作成
〔用紙等〕						
TZH 02010770	アルミケント	トレスター Z500 証判	枚	—		
〔塗料, 燃料〕						
TZH 02120030	航空ガソリン		L	245		撮影
TZH 02120040	オイル		〃	900		撮影
〔木材等〕						
TZH 02140030	木杭	4.5*4.5*45cm	本	72		
TZH 02140036	〃	6*6*60cm	〃	170		
〔その他〕						
TMH 02540010	飛行場使用料		回	1,000		撮影
TMH 02530010	停留料		日	810		撮影
〔測量機械等損料〕						
TMH 02030010	トータルステーション	1級	日	5,030		
TMH 02030020	トータルステーション	2級	日	3,070		
TMH 02030030	トータルステーション	3級	日	1,590		
TMH 02040020	GPS測量機	2級	日	1,940		
TMH 02050010	レベル	1級	日	3,160		
TMH 02050020	レベル	2級	日	1,550		
TMH 02050030	レベル	3級	日	420		
TMH 02080010	飛行機	単発	時	54,280		
TMH 02080020	〃	双発	〃	73,810		
TMH 02090000	航空カメラ	広角	〃	41,900		
TMH 02100010	図化機	2級A	日	20,230		

コード	名称	規格	単位	単価		摘要
				4/1~		
〔移動変形調査〕						
TMH 02280000	伸縮計損料	7日巻	基・日	*		
〔傾斜計〕						
TMH 02281000	傾斜計損料		基・日	*		
〔挿入式孔内傾斜計〕						
TZH 01060190	アルミケーシング	φ47mm×3m	本	*		
TZH 01060200	アルミカップリング	φ47mm	ヶ	*		
TZH 01060210	ケーシングキャップ類		組	*		
TMH 02285000	孔内傾斜計損料		台・日	*		
〔パイプ歪計〕						
TZH 01060110	パイプ歪計	φ48mm用 t=36mm	本	*		
TZH 01060120	リード線		m	*		
TZH 01060130	ソケット	φ48mm用	個	—		
TMH 02283000	静歪指示計損料		台・日	*		
〔運搬費〕						
TZH 70055002	モノレール 機械器具損料	100m以下	〃	*		
TZH 70055004	〃	100m超～500m以下	〃	*		
TZH 70055006	〃	500m超～1000m以下	〃	*		
TZH 70056002	索道機械器具損料	100m以下	〃	*		
TZH 70056004	〃	100m超～500m以下	〃	*		
TZH 70056006	〃	500m超～1000m以下	〃	*		
〔既存資料の収集・現地調査〕						
TZH 70085010	既存資料の収集・ 現地調査	直接人件費	業務	*		
〔資料整理とりまとめ〕						
TZH 70085020	資料整理とりまとめ	直接人件費	業務	*		
TZH 70085030	〃	直接労務費	〃	*		
〔断面図等の作成〕						
TZH 70085040	断面図等の作成	直接人件費	業務	*		
TZH 70085050	〃	直接労務費	〃	*		
〔総合解析とりまとめ〕						
TZH 70086010	総合解析とりまとめ	直接人件費	業務	*		
〔打合せ協議(回数3回)〕						
TZH 70087010	打合せ協議	直接人件費	業務	*		3回

測量成果品検定料金

種別	名称	規格	単位	単価		摘要
				4/1~		
基準点測量	1級	手簿	点	*		
		トータルステーション		*		
		GPS		*		
	2級	手簿	点	*		
		トータルステーション		*		
		GPS		*		
	3級	手簿	点	*		
		トータルステーション		*		
		GPS		*		
	4級	手簿	点	*		
		トータルステーション		*		
		GPS		*		
水準測量	1級	データコレクター	点	*		
		手簿		*		
	2級	データコレクター	点	*		
		手簿		*		
	3級	データコレクター	点	*		
		手簿		*		
	4級	データコレクター	点	*		
手簿		*				
簡易水準測量	データコレクター	点	*			
渡河(海)	経緯儀法を除く	箇所	*			
座標変換	基準点A	1~4級	点	*		
	基準点B	1~4級	点	*		
	水準点A		点	*		
	水準点B		点	*		

上表は「ケ」839頁、「セ」878頁に掲載。

備考

1. 点数及びキロ数は、計画機関の設計数量とする。
2. 2級(等)水準測量で、手書手簿において観測手簿から計算まで0.1mmのものは1級(等)水準測量の料金とする。
3. 精密な測量及び設置点数が多い測量で、節点数が新点数の50%を超える測量、その他特殊な測量は、別途協議して決める。
4. 検定料金の10円未満は切り捨てとする。
5. 未検定のデータコレクターを使用した場合は手簿料金となります。
6. 座標変換の各項目は下記のとおりとする。  
 基準点A: 座標変換プログラムを利用した座標変換。  
 基準点B: 設置当時の観測値を用いた改算による座標変換(TS、GPS)。  
 水準点A: 旧観測値を用いた平均計算による成果改定。  
 水準点B: 仮定観測値を用いた平均計算による成果改定。

地図測量等（「ケ」840頁、「セ」879頁）

測量種別	空中写真 (密着写真) アナログ	空中写真 (数値写真) デジタル	1:500 地図	1:1,000 地図	1:2,500 地図	1:5,000 地図
単位	1枚	1枚	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>
単 価	A地区		*	*	*	*
	B地区	*	*	*	*	*
	C地区	*	*	*	*	*

測量種別	1:500 地図修正	1:1,000 地図修正	1:2,500 地図修正	1:5,000 地図修正	1:10,000 地図修正	1:5,000 写真図	1:2,500→ 1:5,000 地図編集
単位	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>
単 価	A地区	*	*	*	*	*	
	B地区	*	*	*	*	*	
	C地区	*	*	*	*	*	

測量種別	1:500 数値地図 写真測量	1:1000 数値地図	1:2500 数値地図	1:5000 数値地図
単位	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>
単 価	A地区	*	*	*
	B地区	*	*	*
	C地区	*	*	*

測量種別	1:500 数値地図修正	1:1000 数値地図修正	1:2500 数値地図修正	1:5000 数値地図修正	1:2500 既成図数値化	1:5000 既成図数値化
単位	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>	1Km <sup>2</sup>
単 価	A地区	*	*	*	*	*
	B地区	*	*	*	*	*
	C地区	*	*	*	*	*

備考

1. 地区の区分

A地区＝市街地及び都市近郊並びに急峻な山岳地等で地物の密集した地域、又は地形の複雑な地域。

B地区＝通常の農村地域。

C地区＝平坦地で、かつ耕地がやや少なく原野・森林等の多い地域。

2. 数値地図とはデジタルマッピングによる地図及びDMデータファイルの検定とする。

3. 地図編集は縮図方式で編集した地図とする。

4. TS測量による成果品など、ここにはない縮尺又は測量種別については仕様書により協議して決める。

5. 1図面の大きさの標準は、1/500から1/5,000までは80cm\*60cmとし、これに応じる面積は、1/500:0.12Km<sup>2</sup>、1/1,000:0.48Km<sup>2</sup>、1/2,500:3.0Km<sup>2</sup>、1/5,000:12.0Km<sup>2</sup>

6. 検定料金額の10円未満は切り捨てとする。

## 地質調査市場単価

### 地質調査市場単価の適用

地質調査市場単価は表－１に掲げる６項目で適用し、財団法人経済調査会発行の「土木施工単価」及び財団法人建設物価調査会発行の「土木コスト情報」に掲載されている価格の平均価格を採用する。ただし、適用単価が一誌のみに掲載されている場合は、その価格を採用する。

なお、「土木施工単価」「土木コスト情報」は冬号（平成２３年１月５日発行）の価格を採用し、単価の改定は、管理基準を超えたものについて資材単価の改定にあわせて実施する。

表－１

地質調査市場単価適用業務
１．機械ボーリング
２．サンプリング
３．サウンディングおよび原位置試験
４．現場内小運搬
５．足場仮設費
６．その他間接調査費